

第1部 現代アートシーンをリードするラテンアメリカ

講師:長谷川 祐子 氏(東京都現代美術館チーフキュレーター)

<講演概要>

フランシス・アリス(ベルギー/メキシコ)、エンリケ・マルティ(コロンビア)、ガブリエル・オロスコ(メキシコ)、オスカル・ニーマイヤー(ブラジル).....ここ2年ほど、江東区の水辺にたたずむ東京都現代美術館はラテンアメリカ現代アートの作家たちを次々と紹介している。なぜいま現代アート界ではラテンアメリカ作家たちがこれほど注目されるのか?ヴェネツィア・ビエンナーレなど世界のアートシーンを熟知するキュレーターにその背景を訊く。



東京都現代美術館

略歴:金沢21世紀美術館学芸課長および芸術監督を経て、2006年より現職。多摩美術大学芸術学科教授。第29回サンパウロ・ビエンナーレ「アートと政治」共同キュレーター(2010年)、「ライフがフォームになるときー未来への対話/ブラジル、日本」サンパウロ近代美術館(2008年)、「ネオ・トロピカルアーブラジルの創造力」東京都現代美術館(2008年)等多くの国内外の展覧会を企画。

第2部 ボゴタのでこぼこ道

～自転車王国コロンビアの南北問題

講師:小里 仁 氏(元朝日新聞サンパウロ支局長)



自転車天国のボランティア学生

<講演概要>

コロンビアは南米随一の自転車王国。ツール・ド・フランスで活躍する有名選手も少なくない。週末・祝日が自転車に開放される首都ボゴタの道はしかし、いたるところ穴だらけ。でこぼこをいかに均すか、それは和平交渉の隠喩でもあり得る。取材を重ねた国にボランティアとして住み込んだ元新聞記者の語るコロンビア。

略歴:1973年東京大学法学部卒業、朝日新聞社に入社。1987～2000年サンパウロ支局長、ローマ支局長、パリ支局長を歴任。2011年朝日新聞社を退職の後、2014年春から1年間コロンビアでボランティア活動(日本語教師)に従事。

日時:2015年 11月28日(土)17時～20時

会場:立教大学池袋 5号館1階5121教室

入場無料・予約不要・先着280名

問合せ:立教大学ラテンアメリカ研究所

東京都豊島区西池袋3-34-1 Tel: 03-3985-2578

E-mail: late-ken@rikkyo.ac.jp

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ILAS/>